

日本海沿岸東北自動車道

「朝日あさひまほろば～温海あつみ」WG

意見募集アンケート集計結果

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所
北陸地方整備局 新潟国道事務所

平成23年12月16日

目次

1. 意見聴取の概要	1
2. 広報の実施状況	2
3. 意見募集アンケート結果	3
4. 説明会等の結果	15
5. 企業ヒアリング・アンケート結果	19
6. 調査結果のまとめ(案)	24

1. 意見聴取の概要

・意見聴取は、意見募集アンケートなど、以下の内容を実施した。

意見聴取の概要

実施項目	実施期間	回答方法	実施概要	回答状況
意見募集 アンケート	平成23年 11月1日(火) ～11月30日(水)	郵送回収 投函BOXによる回収	アンケート票の配布 全戸配布:温海地区、朝日地区、山北地区 アンケート票設置:投函BOX設置箇所に設置 投函BOX設置箇所:計26箇所設置 市役所:温海庁舎、朝日支庁、山北支庁等 道の駅:あつみ、朝日、笹川流れ、神林、関川等	回答数:3,141
		インターネットでの回答	・新潟国道事務所HPにあるアンケートページにアクセスし、回答	回答数:724
		合計回答数:3,865		
住民説明会	平成23年 11月2日(水) ～11月14日(月)	質疑応答 投函BOXによる回収	実施会場:5会場で開催 府屋会場:11月 2日(水) 参加者 約70名 温海会場:11月 9日(水) 参加者 約120名 北中会場:11月 9日(水) 参加者 約70名 寒川会場:11月10日(木) 参加者 約60名 朝日会場:11月14日(月) 参加者 約120名	-
		・グループインタビュー	・住民説明会后、地域の代表者(5名～11名)へのインタビューを実施	-
企業アンケート・ヒアリング	平成23年 11月15日(火) ～11月25日(金)	ヒアリングによる回答 (訪問・電話による回答) FAXによる回収	・政策目標に合致する企業・団体から、約470社抽出し、回答を依頼	FAX回答数:202 うちヒアリング回答数:34 (うち電話5)
現地視察会	平成23年 11月28日(月) ～11月29日(火)	・意見交換会	温海会場 WG委員 3名 温海地区代表者 6名 村上会場 WG委員 3名 村上地区代表者 8名	-

2. 広報の実施状況

・広報は、ポスターの掲載や新聞広告など、以下の内容を実施した。

- ▶ ポスター掲載
市町村役場、道の駅、SA・PAなど 計118箇所掲載
- ▶ HP上での告知（バナー等） 計14箇所
- ▶ 新聞広告 3社（山形新聞、荘内日報、新潟日報）
10/30（日）、11/12（土）の計2回実施
- ▶ 市報等掲載（県、市報むらかみ、広報つるおか、moca）
- ▶ 村上市（朝日・山北）情報端末による告知 計8回

ポスター設置状況



村上市山北支所



鶴岡市温海庁舎

新聞広告（平成23年10月30日 新潟日報）

ハガキやインターネットによるアンケートにご協力をお願いします

日本海沿岸東北自動車道 「朝日まほろばIC～温海IC(仮称)」間の 新たな高速道路の計画に関する アンケート及び説明会を実施いたします。

日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろばIC～温海IC(仮称)」間について、新たな高速道路の計画を検討しています。検討にあたり道路が通過する地域の位置や留意点などについて皆様のご意見をお聞きするための、アンケートと説明会を実施いたします。

●朝日まほろばIC～温海IC(仮称)間の計画検討区間

説明会 説明会は、ご出席でも、ご参加でもかまいません。

会場	日時
府屋会場	11月2日(水) 19時から
北中会場	11月9日(水) 19時から
寒川会場	11月10日(木) 19時から
朝日会場	11月14日(月) 19時から

【アンケート】
朝日まほろばIC～温海IC(仮称)間にお住まいの方は、市報むらかみ11月1日号に、アンケートを申し込みます。また、市町村役場・道の駅などにも設置いたします。

【回答方法】
アンケートは、下記に設置してあるQRコードをスキャンしていただき、スマートフォン・PCから回答してください。市報むらかみ11月1日号に掲載いたします。

【お問い合わせ先】
国土交通省 新潟国道事務所 計画課 電話 025-246-7775(直通)
村上市 山北支所産業建設課 電話 77-3115

バナー

元氣「おまち」村上市
新潟県 村上市
Murakami City Official Web Site

11月2日(水) 19時から さんばく会館
11月9日(水) 19時から 北中生活改善センター
11月10日(木) 19時から 寒川生活改善センター
11月14日(月) 19時から 村上市総合文化会館

「朝日まほろばIC～温海IC(仮称)」間の新たな高速道路の計画に関するアンケート実施中

最終更新日：10月24日

◎村上市内における空間放射線量の測定結果について

- [11月1日]老人福祉3施設の公募選定結果を公表します
- [11月1日]村上市内における空間放射線量の測定結果をお知らせします
- [11月1日]市報むらかみ11月1日号を掲載
- [11月1日]平成24年度保育園入園申し込みを受け付けします
- [10月31日]村上市美術協会による市展出品作品展覧会
- [10月31日]村上市美術協会を開催します
- [10月28日]村上市プレミアム商品券の発売及び取扱店募集について
- [10月28日]村上市ききまぐさ銀行を開設しました
- [10月28日]1通話・防犯フェスティバル2011を開催します

イベント・行事予定
EVENT
[3月1日～平成24年2月28日]第1回 村上どんぶり会

村上市HP

村上市情報端末（告知画面）

新たな高速道路計画に関する説明会のご案内 11/01 19:30

新たな高速道路に関する説明会を開催します

日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろばIC～温海IC(仮称)」間の新たな高速道路の計画に関するアンケート調査を実施いたします。アンケート内容ご説明と皆様のご意見をお聞かせいただくために下記の4会場で説明会を開催いたします。ご出席くださいますようお願いいたします。

会場	日時
府屋会場	11月2日(水) 午後7時 さんばく会館
北中会場	11月9日(水) 午後7時 北中生活改善センター
寒川会場	11月10日(木) 午後7時 寒川生活改善センター
朝日会場	11月14日(月) 午後7時 村上市総合文化会館

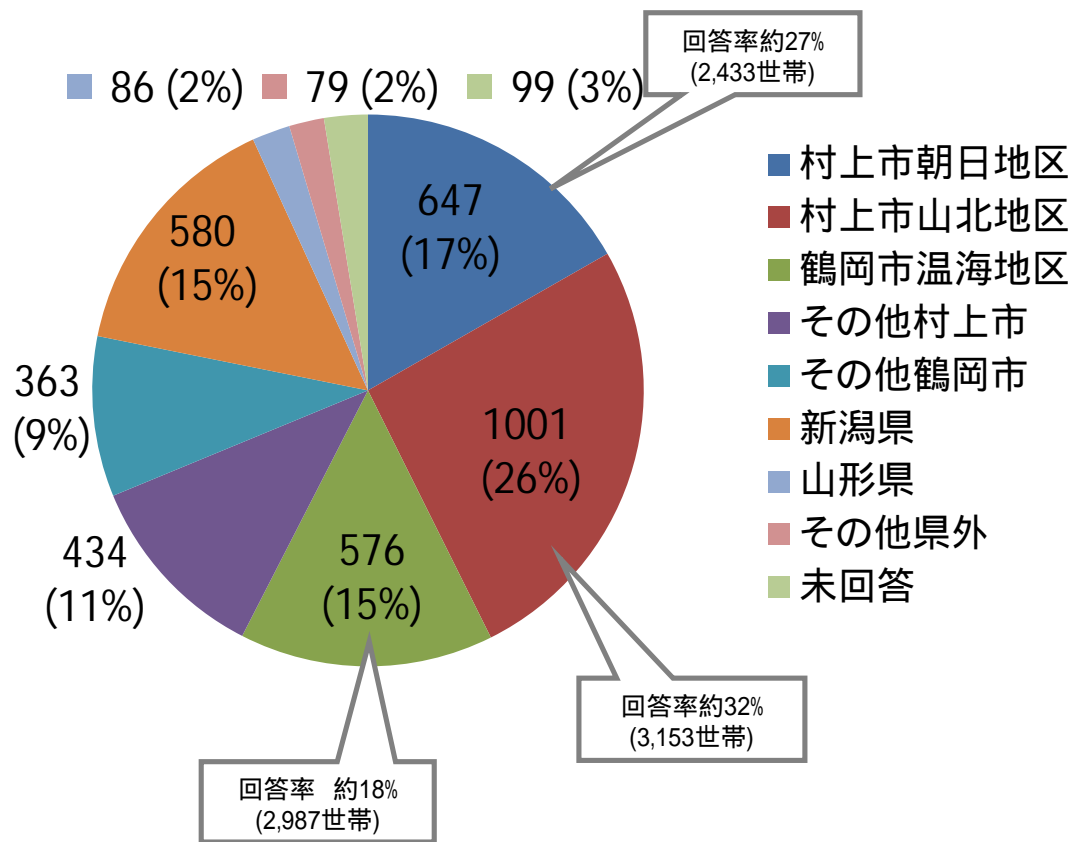
※説明会は、どの会場でもご自由にご参加いただけます。

問合せ
国土交通省 新潟国道事務所 計画課 電話 025-246-7775(直通)
村上市 山北支所産業建設課 電話 77-3115

3. 意見募集アンケート結果 (1 / 1 2)

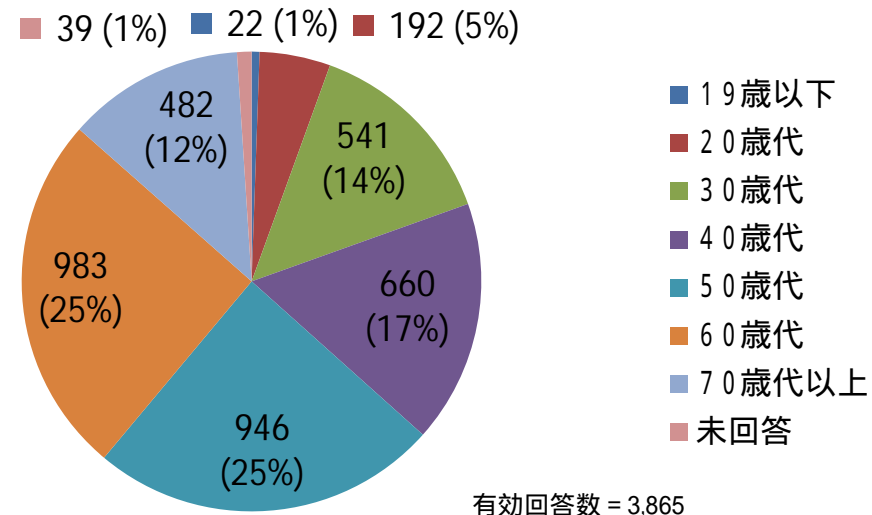
- ・回答者の居住地は、検討区間沿線地域(村上市朝日地区、山北地区、鶴岡市温海地区)が約60%を占める
- ・年齢は、50歳代～60歳代の回答が約50%を占める
- ・回答者の大半が運転免許を保有している。

回答者の居住地

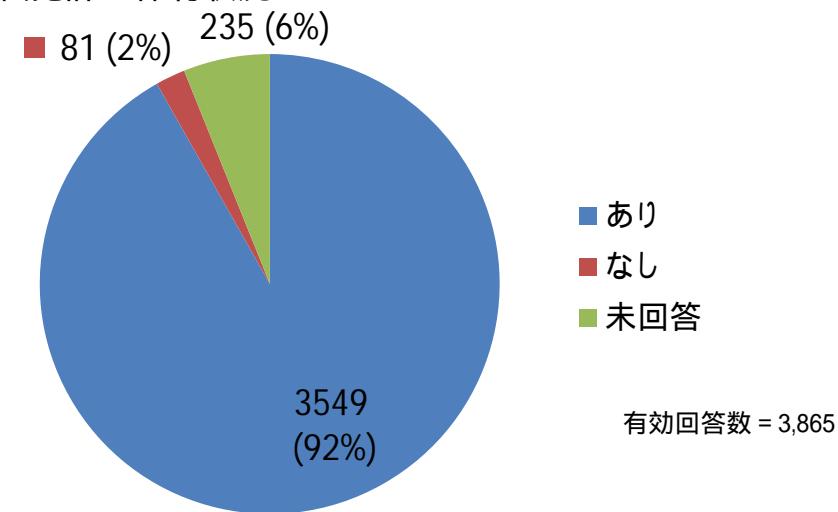


有効回答数 = 3,865
世帯数 : H23.4現在

年齢



運転免許の保有状況

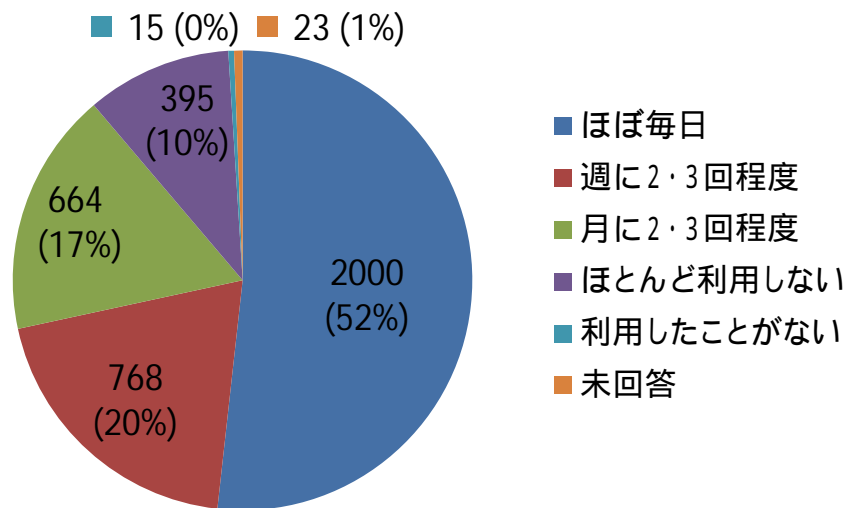


3. 意見募集アンケート結果 (2 / 1 2)

・国道7号の利用頻度は、週に2～3回以上利用するとの回答が約7割となっている。
・主な利用目的は、家事・買い物が最も高い。次いで、観光・レジャー、仕事、通勤・通学となっている。

質問1 国道7号の利用頻度

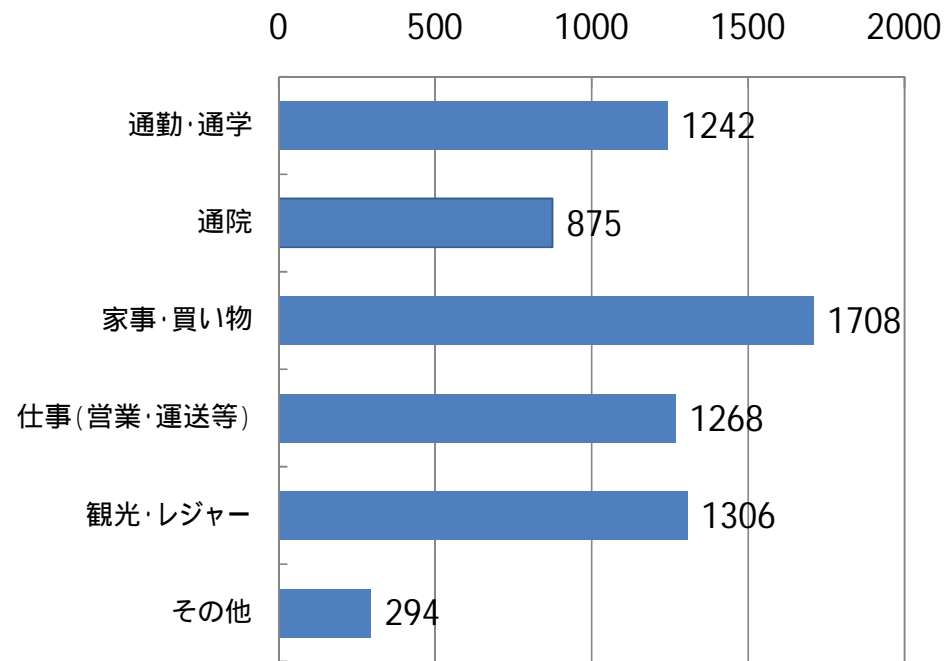
国道7号をどれぐらいの頻度で利用しますか？



有効回答数 = 3,865

質問2 主な利用目的

国道7号の主な利用目的は何ですか？（複数回答可）



有効回答数 = 3,803
複数回答

その他の主な利用目的

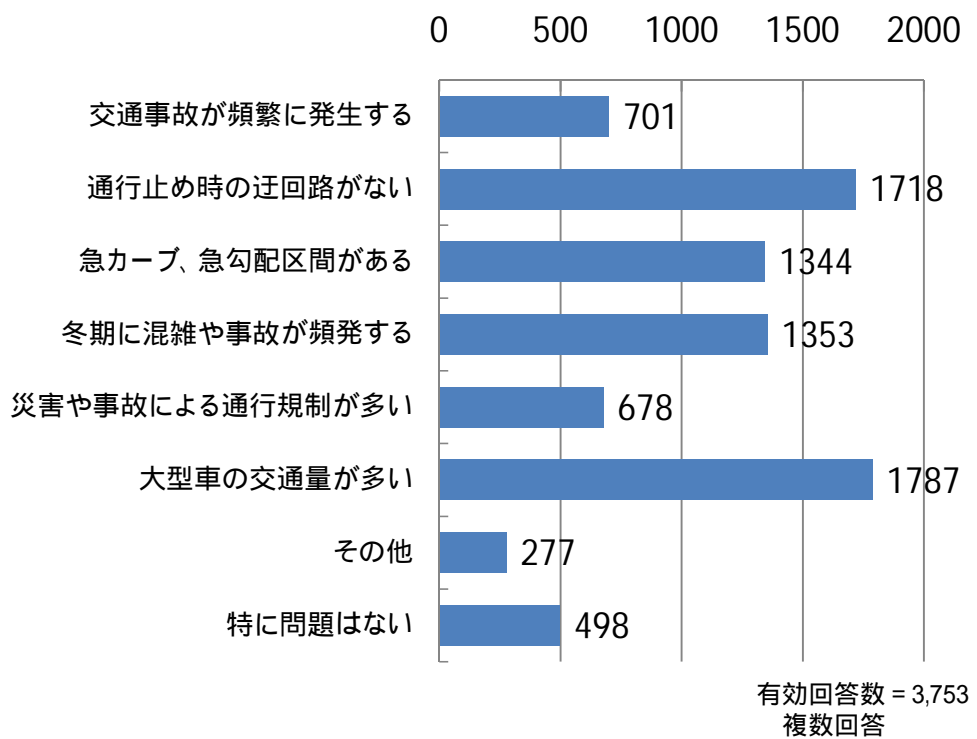
- ・ 帰省
- ・ 介護
- ・ 訪問、送迎など

3. 意見募集アンケート結果 (3 / 1 2)

・国道7号の問題点は、大型車の交通量が多いことと通行止め時の迂回路がないことの回答が多い。
 ・高速道路の必要性は、回答者の90%以上が必要と回答。居住地別に見ても大半が必要と回答している。

質問3 国道7号の問題点

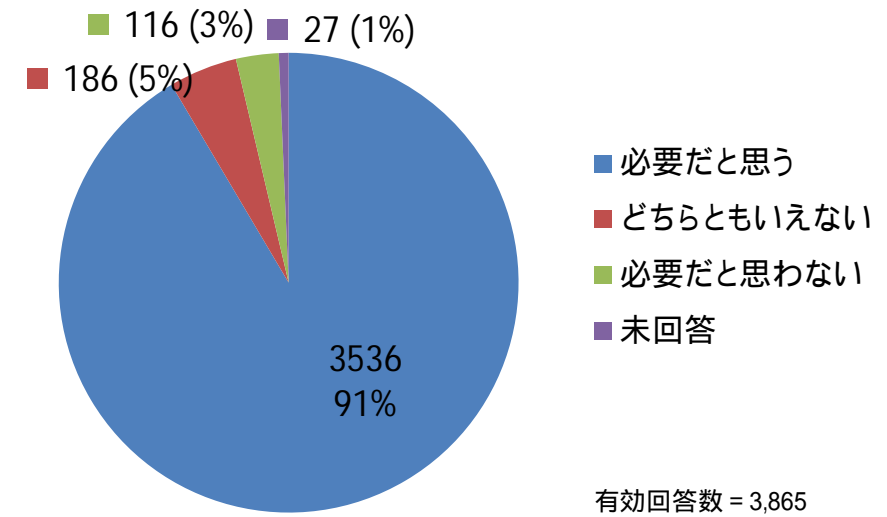
国道7号で、困った事や問題点はありますか？（複数回答可）



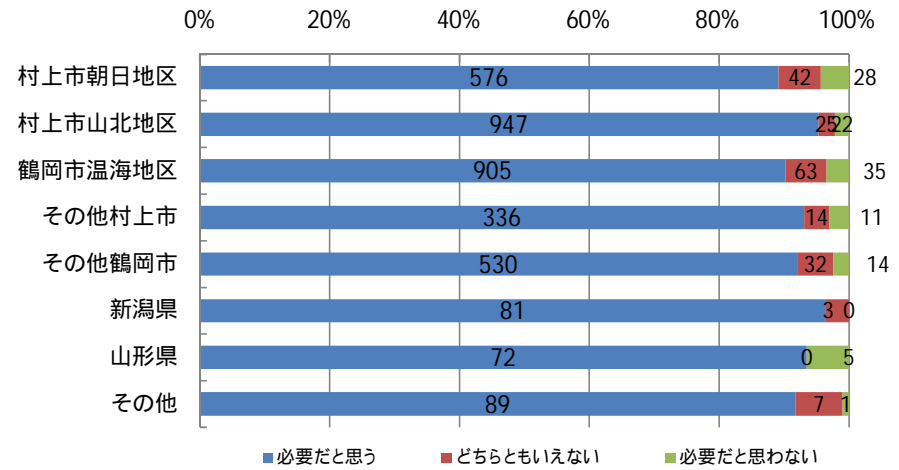
- その他の主な問題点
- ・速度が遅い（追越できない）
 - ・走行速度が速い
 - ・騒音・振動に悩まされている
 - ・工事が多い
 - ・走行しにくい（越波、幅員狭小、舗装の傷み）

質問4 高速道路整備の必要性

朝日まほろばIC～温海IC(仮称)間に高速道路整備は必要だと思いますか？



居住地別の傾向

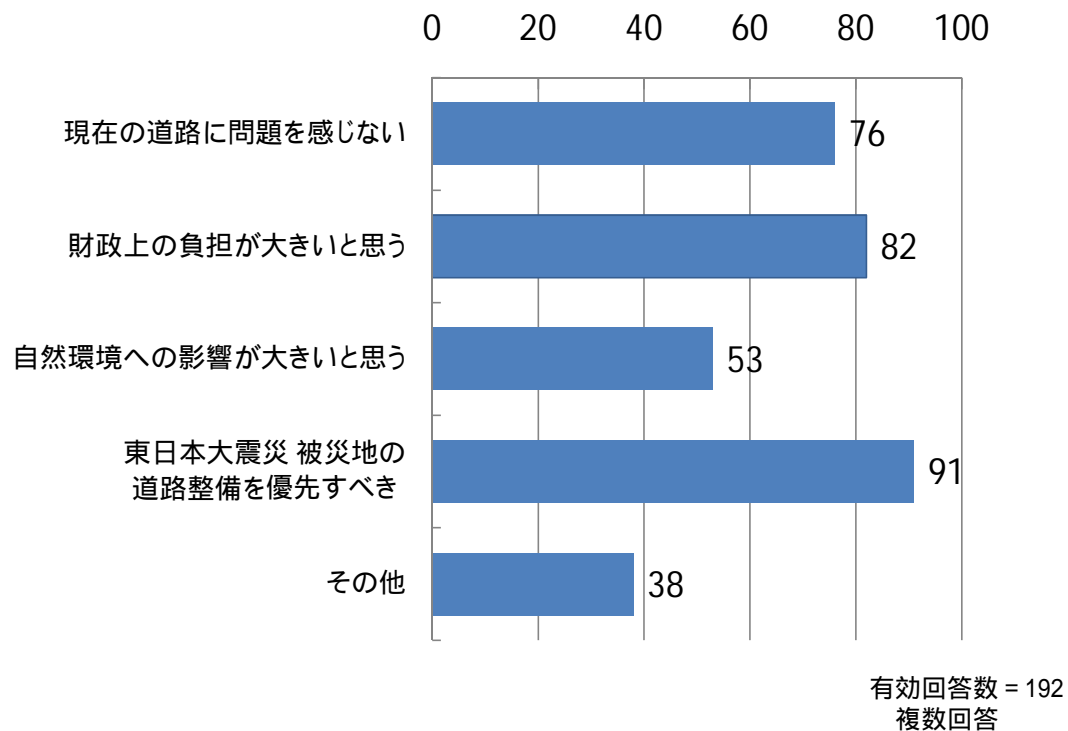


3. 意見募集アンケート結果(4 / 12)

- ・必要と思わない理由は、東日本大震災 被災地の道路整備を優先すべきという回答が最も多い。
- ・高速道路に期待する役割は、災害等による迂回の回避できることと最短時間で結ぶ物流経路を確保することの回答が多い。

質問5 必要と思わない理由

必要だと思わない理由は何ですか？（複数回答可）

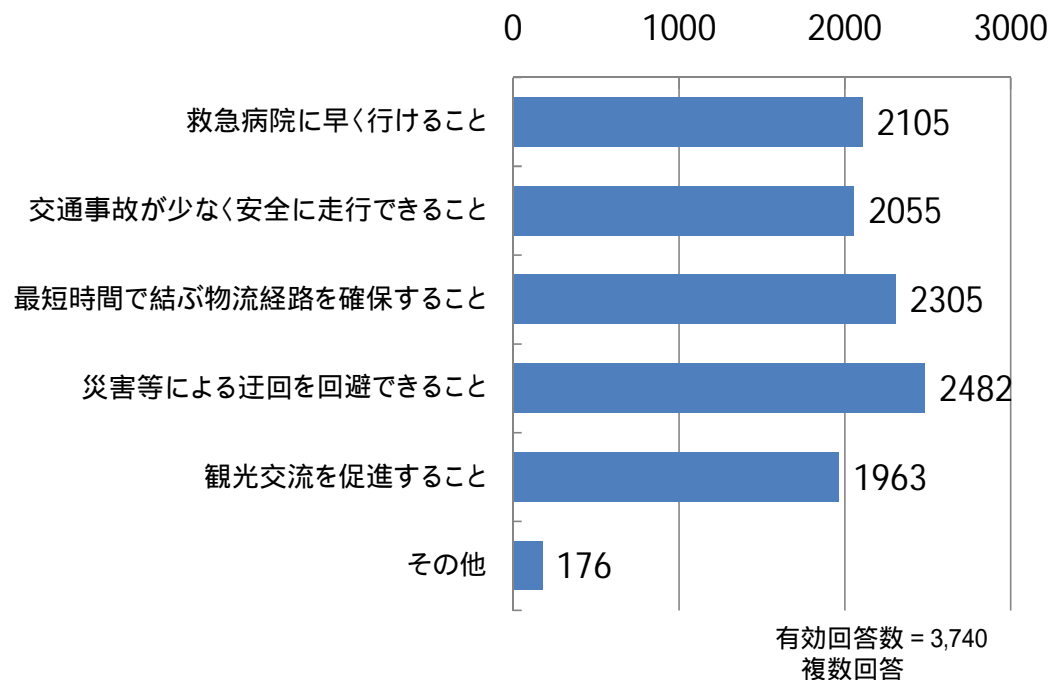


その他の主な理由

- ・当該区間を通過されるだけになる
- ・当該区間を利用しない
- ・道路整備自体が不要

質問6 高速道路に期待する役割

必要と考える高速道路には、どんな役割を期待しますか？（複数回答可）



その他の期待する役割

- ・地域の活性化
- ・目的地へ早く到着できる（定時性の確保）
- ・日本海国土軸としての機能（バイパス機能）など

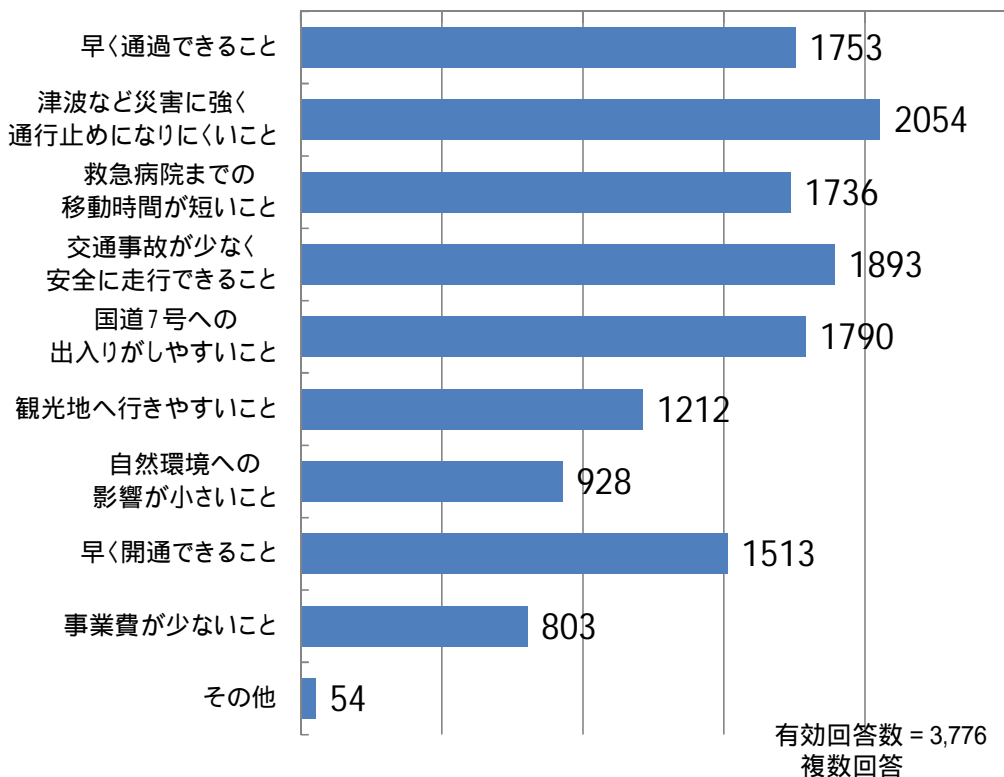
3. 意見募集アンケート結果 (5 / 12)

- ・ルートを選定基準は、津波などの災害に強く通行止めになりにくいこと、交通事故が少なく安全に走行できることの回答が多い。
- ・望ましいルートは、Bルートが最も多い。

質問7 ルートを選定する時の基準

ルートを選定するときに何が重要だと思いますか？（複数回答可）

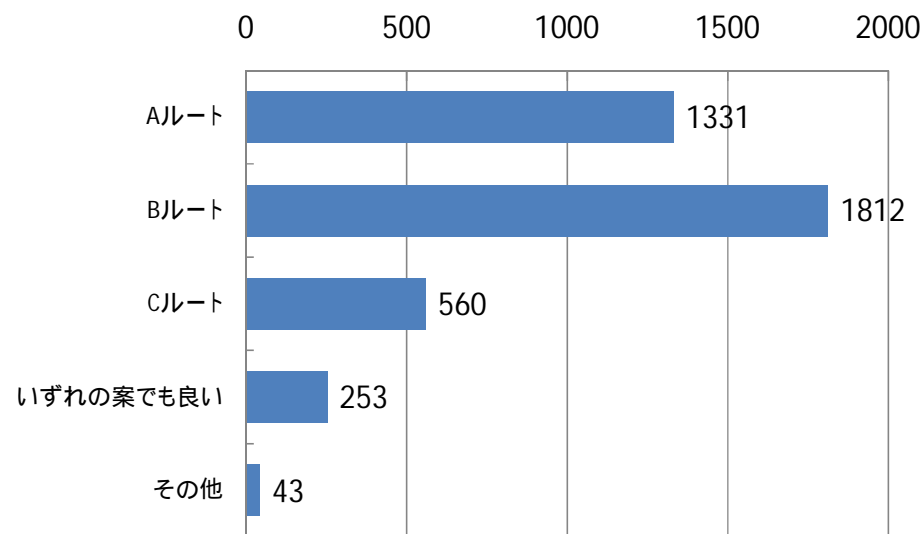
0 500 1000 1500 2000 2500



質問8 望ましいルート帯

7の回答をふまえ、A～Cのうち望ましい案はどれですか？

（複数回答可）



有効回答数 = 3,730
複数回答

その他の選定基準

- ・沿道地域の発展
- ・国道345号、国道113号へのアクセス性
- ・車線数 など

その他の意見

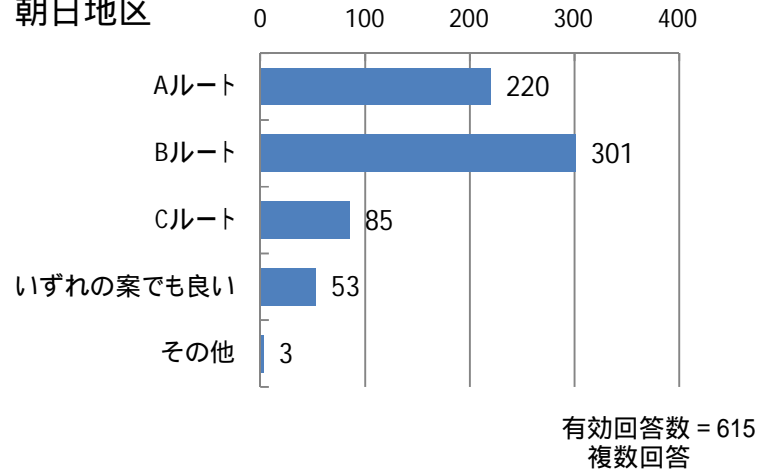
- ・Bルートを基本に線形を良くし、ルート延長を短く。
- ・Cルートより更に桑川（村上）寄りに、早稲田から桑川を通るルート。 など

- ・居住地別で見た場合、山北地区は全体の傾向よりもBルートとの回答が多い。
- ・温海地区は、全体の傾向と異なり、Aルートとの回答が多い。

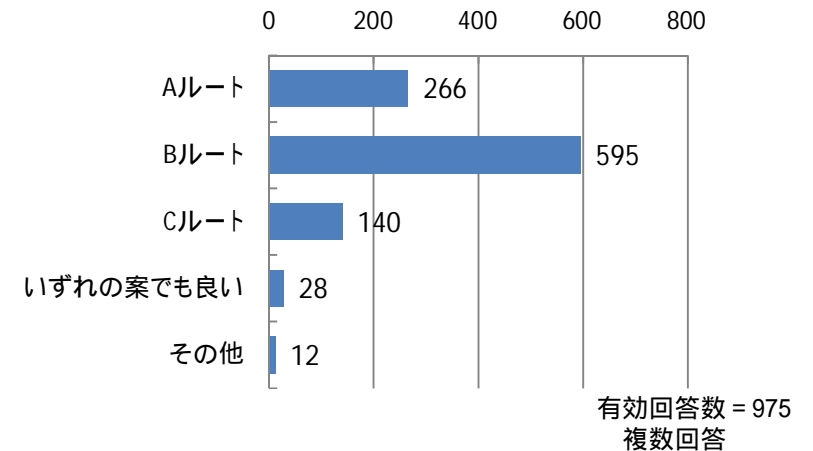
質問8 望ましいルート帯

7の回答をふまえ、A～Cのうち望ましい案はどれですか？

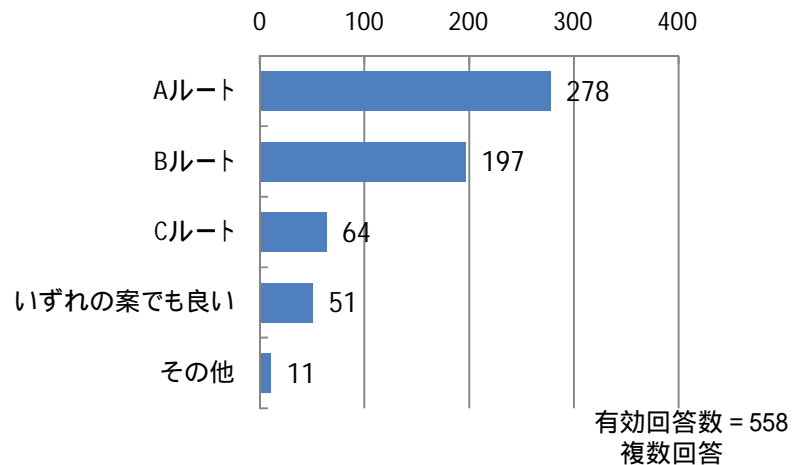
朝日地区



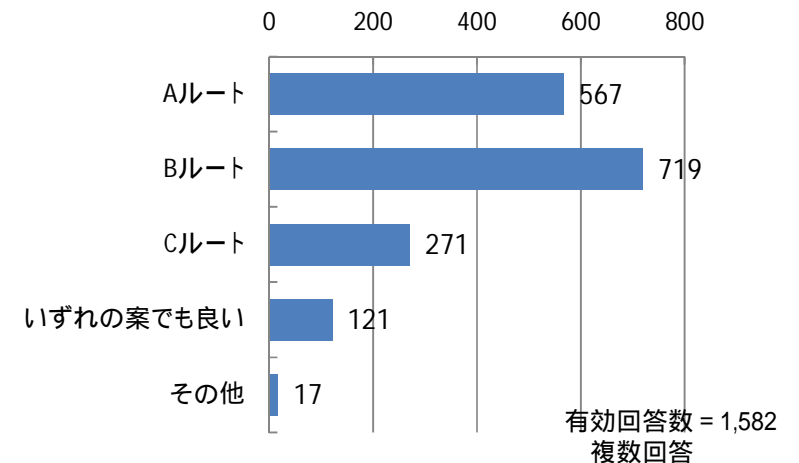
山北地区



温海地区

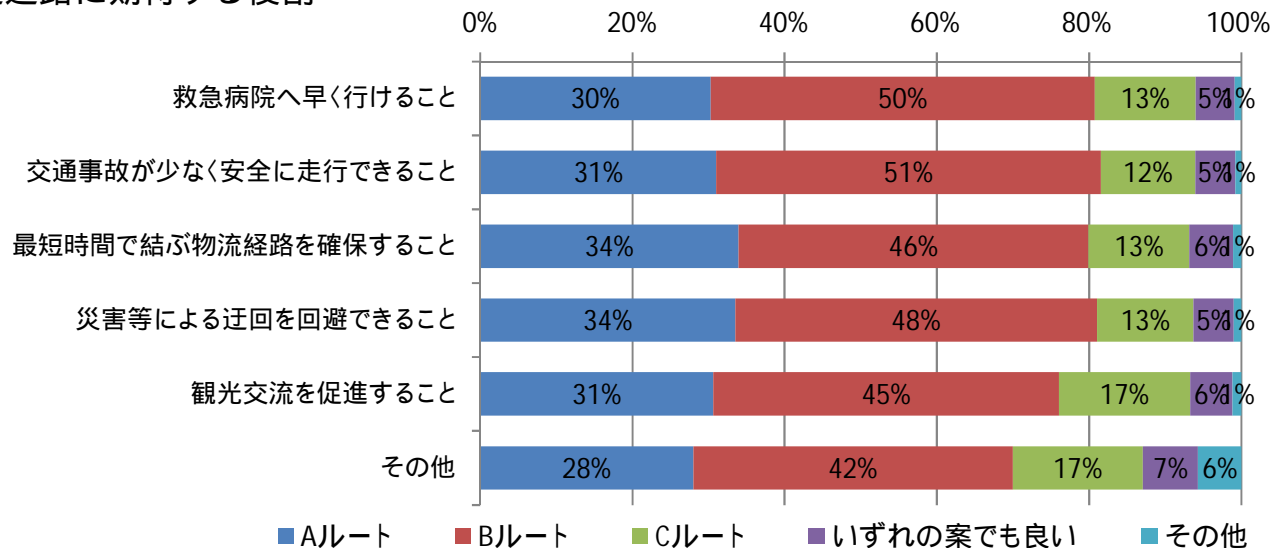


その他



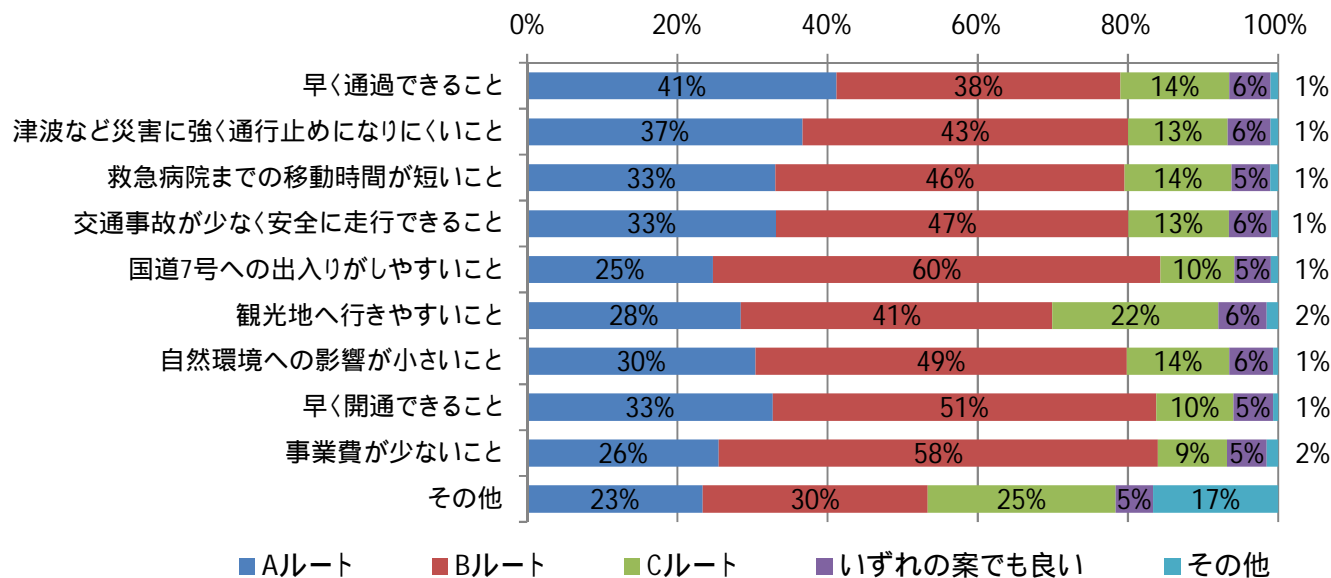
・高速道路に期待する役割別の望ましいルート帯は、全ての項目でBルートの割合が高い。
 ・ルート帯を選定する時の基準別の望ましいルート帯は、全体的にBルートの割合が高いが、早く通過できることの項目のみAルートの割合が高い。

質問6 高速道路に期待する役割



回答総数 = 11,797
複数回答

質問7 ルートを選定する時の基準



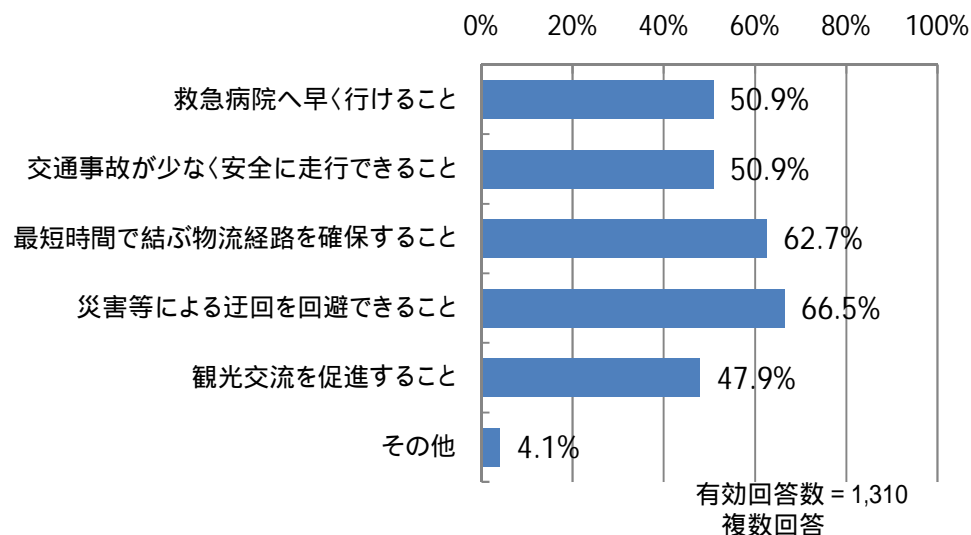
回答総数 = 14,676
複数回答

3. 意見募集アンケート結果 (8 / 12) ルート帯別で見た高速道路に期待する役割

- ・Aルートが望ましいとする回答者は、災害等による迂回を回避できることや最短経路で結ぶ物流経路を確保することを期待する意見が多い。
- ・Bルートが望ましいとする回答者は、Aルートの期待する意見に加えて、救急病院へ早くいけることを期待する意見が多い。
- ・Cルートが望ましいとする回答者は、観光交流を促進することや災害等による迂回を回避できることを期待する意見が多い。

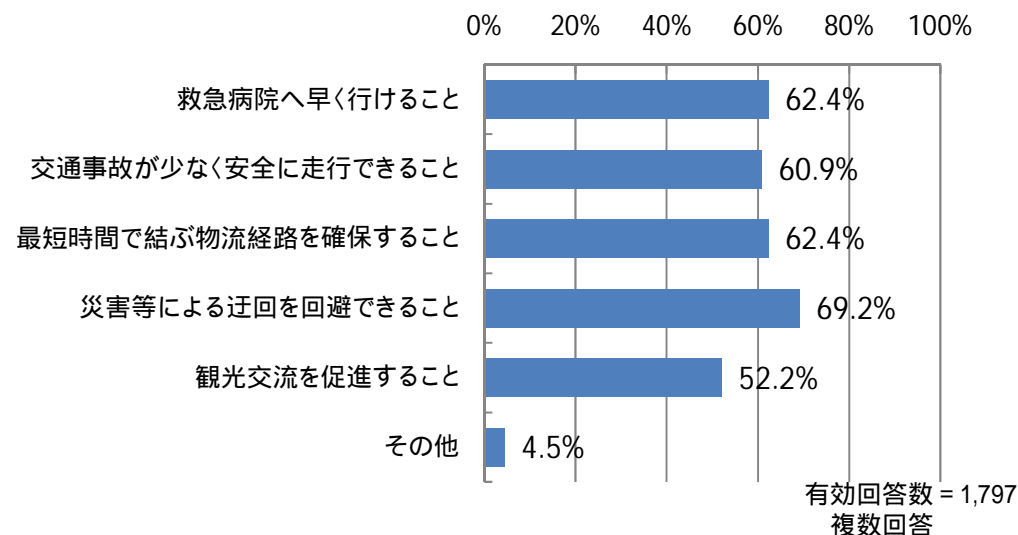
質問8 望ましいルート帯

Aルート

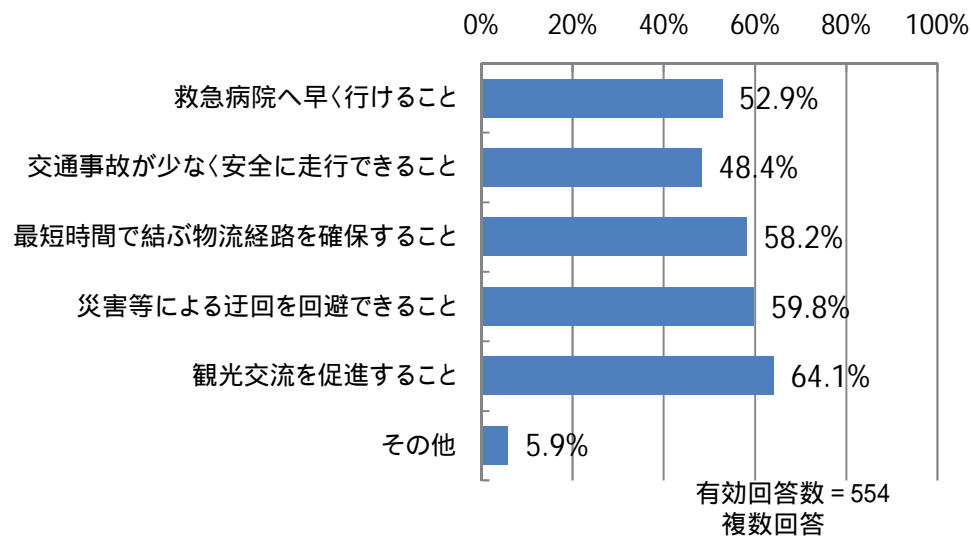


Bルート

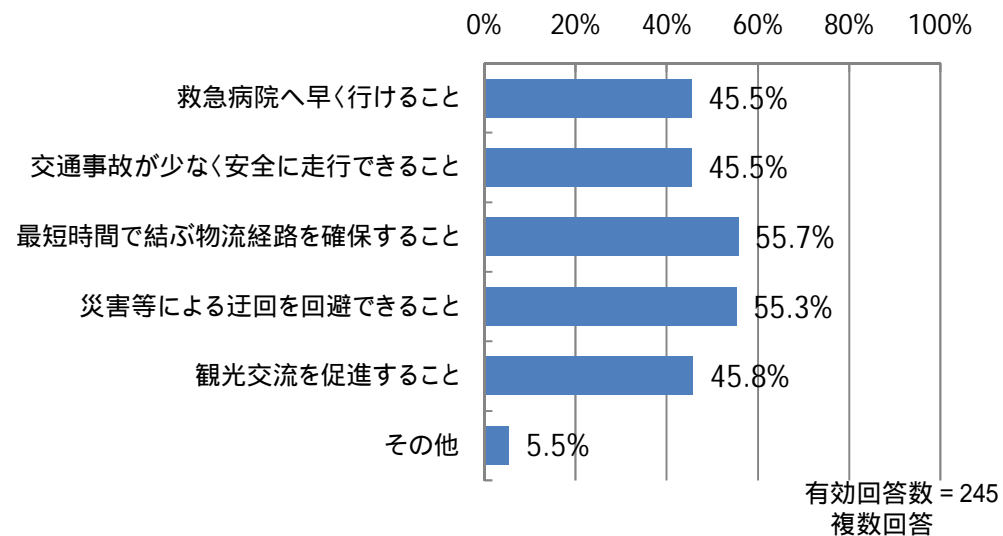
いずれも未回答を除く



Cルート



いずれの案でもよい



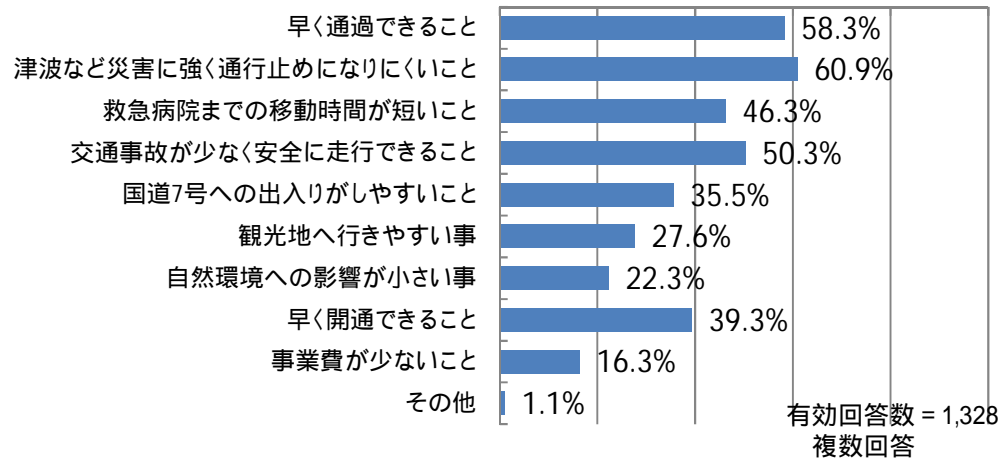
- ・Aルートが望ましいとする回答者は、津波などの災害に強く通行止めになりにくいことを重視する意見が最も多い。
- ・Bルートが望ましいとする回答者は、国道7号への出入りがしやすいことを重視する意見が最も多い。また他ルートよりも事業費が少ないことを重視する意見が多い。
- ・Cルートが望ましいとする回答者は、津波などの災害に強く通行止めになりにくいことを重視する意見が最も多い。また他ルートよりも観光地へ行きやすいことを重視する意見が多い。

質問8 望ましいルート帯

いずれも未回答を除く

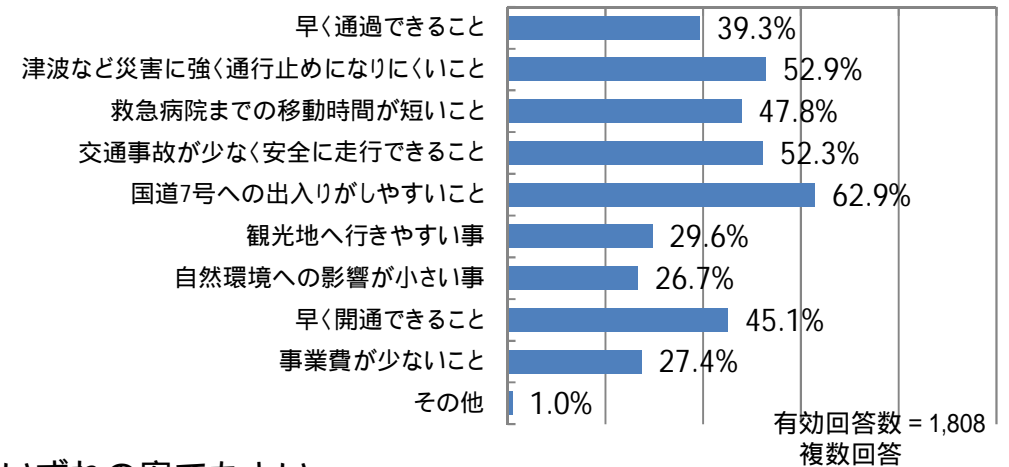
Aルート

0% 20% 40% 60% 80% 100%



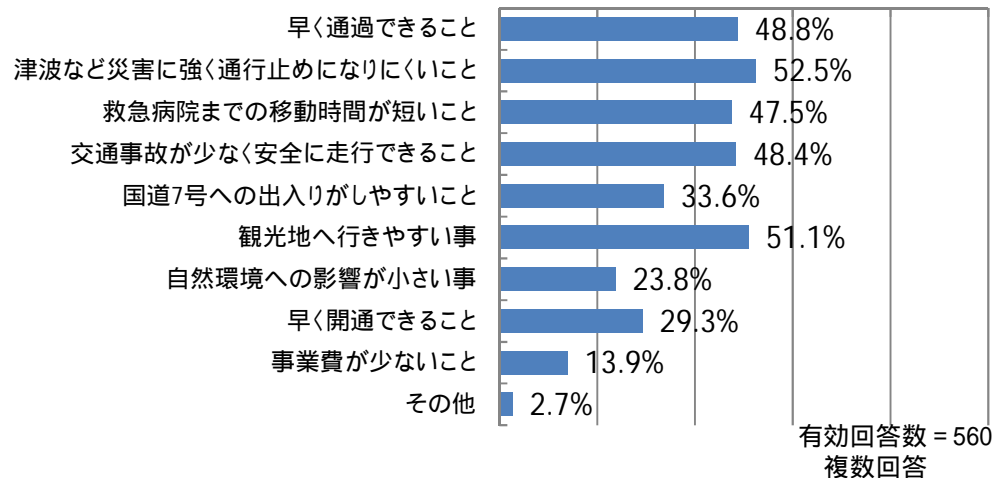
Bルート

0% 20% 40% 60% 80% 100%



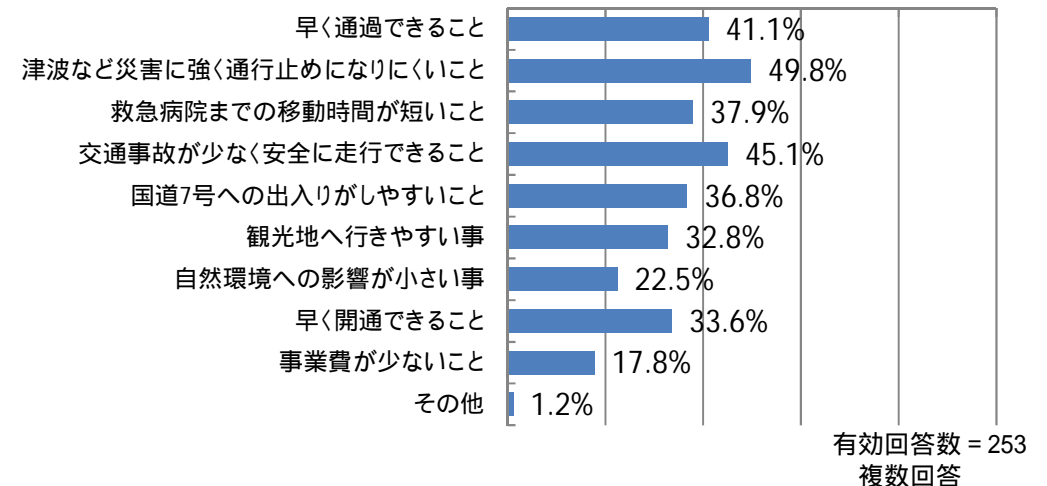
Cルート

0% 20% 40% 60% 80% 100%



いずれの案でもよい

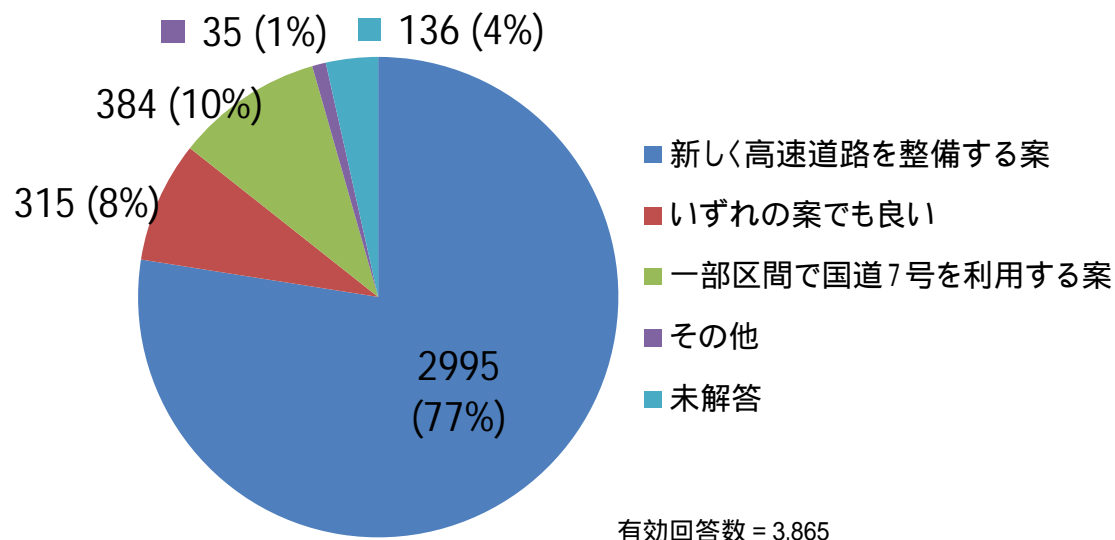
0% 20% 40% 60% 80% 100%



・現道活用の意向は、約8割が新しく高速道路を整備することと回答。

質問9 現道活用の意向

国道7号を利用する案も考えられますが、望ましい案はどれですか？



【現道活用賛成の意見】

- ・現在の国道7号の改良で十分だと思います。
- ・七号線を改良し、ところどころ4車線にして早期に開通することを望みます。それが地域経済にいちばん効果があると思う。
- ・高速を作ったところで制限速度が70キロ又は80キロであれば、国道の制限速度を上げればさして変わりはないと思います。環境破壊をしてまで作る程ではないと思います。
- ・地域的に通行量が少なく現国道の整備改良で対処できると思う。

主な現道活用に関する自由回答（抜粋）

【現道活用反対の意見】

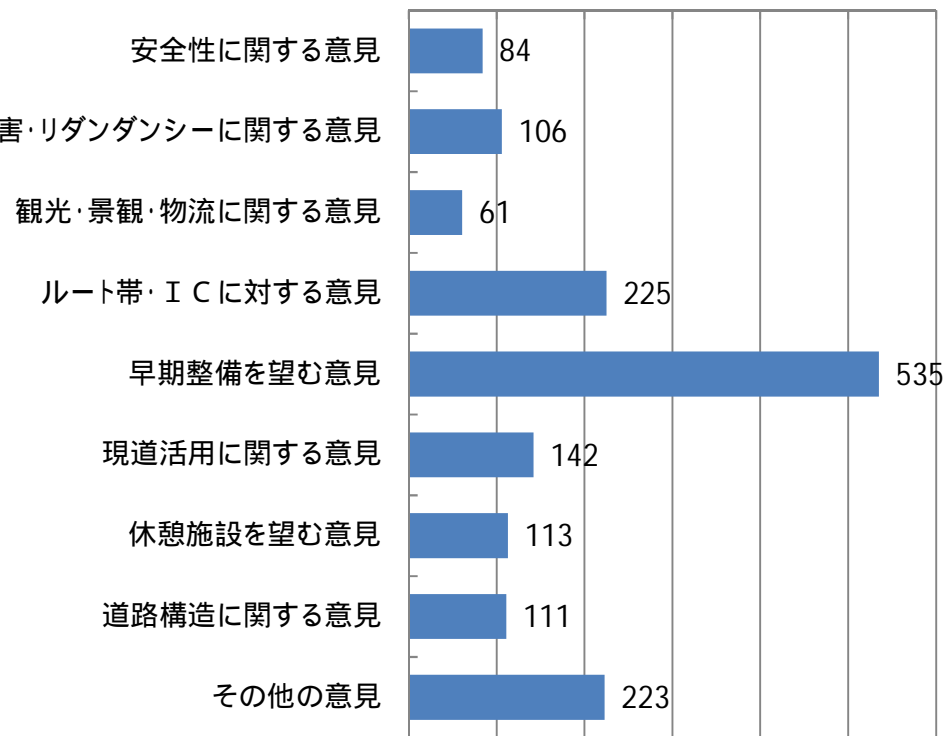
- ・地元の生活道路でもある一般国道を高速道路利用者がそのスピード感覚のまま走行する危険性もあり賛成できません。
- ・現道活用案は、高速道路と地元の農耕車等の低速車も走る区間が直接つながり危険だと思う。
- ・お年寄りの飛び出し事故も多発している区間なので全線新規が良いと思います。
- ・現道に降りたり、また高速に乗ったりするのが手間ですし、高速の効果が薄れると思います。
- ・一般道を高速道路に転用した場合、迂回路としての役割が全くなくなるため候補から外すべき。
- ・全線つながってこそその高速道路。一部で降りなければいけないだけで、脚が遠のく。観光、経済両面において、つながっていない現状は大きな損失。一刻も早くネットワーク化して欲しい。
- ・現道の7号利用は、高速道路を整備する意味・目的が達成できない。この案を考える必要は全くない。
- ・現道活用案は100億円の費用削減効果があるが、目先のお金に右往左往せず、今後、50年、100年先を考え、どのような道を造れば、地域住民、日本国民のためになるのかということが一番に考えていただきたい。
- ・現道案はトラックの交通がさらに増えます。国道の振動騒音に長年悩まされても泣き寝入りし毎年同じ場所で発生する事故に怯えながら暮らしています。別なルートをお考えください。

・自由回答欄に書かれた回答は、早期整備を望む意見が最も多い。

質問10 その他自由回答

その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

0 100 200 300 400 500 600



有効回答数 = 1,401

複数の意見が書いてある場合には、それぞれ別意見としてカウントし集計

住民アンケートでの主な自由意見

【安全性に関する意見】

- ・蒲萄峠や中津原・大鳥等、急カーブ・急勾配が多く、大変危険を感じている。
- ・7号線が事故で通行止になり集落内を通る町道1号線に車が入り、集落内が渋滞になった。
- ・7号が災害や事故になると寸断されますので、救急搬送も出来なくなります。

【災害・リダンダンシーに関する意見】

- ・災害時を想定して、複数ルートの選択で通行可能な道路整備が必要。
- ・一番重要なのは災害時や通行止め時の代替性であり、事業費などの瑣末なものではありません。将来何百年も使う道路として長期的に考え、国土強靱化を進めて頂きたい。
- ・津波などの災害に強いルートにしてほしい。
- ・津波想定範囲に近接して計画する場合は、地域住民の避難場所としての役割も考慮してほしい。

【観光・景観・物流に関する意見】

- ・物流・観光を両立した高速道の実現をお願いしたい。
- ・自然環境もできるだけ残すようにやっていただきたい。
- ・トンネルばかりでは走る楽しみがない。海よりの眺めの良いところがよい。
- ・観光面よりも物流、災害に強い道路にしてほしい。
- ・開通すれば関東などからも交通の便が良くなるので、観光客が山形に来やすくなると思う。
- ・通過点とならないようなことを考えてもらいたい。
- ・眺めがよい区間 わき見運転多発区間。
- ・自然環境等もお考えいただきトンネル多用を願います。

【早期整備を望む意見】

- ・アンケートを参考にして、できるだけ早くルートを決定し、着工して下さい。
- ・いつまでも愚図愚図していないで、早期に着工してほしい。

住民アンケートでの主な自由意見

【ルート帯・ICに対する意見】

- ・ 今回の3つのルート案では、いずれのルートでも差がほとんどない。
- ・ 事故が起きたときの迂回のことを考えると、国道7号線に近いルートが良い。
- ・ 7号線不通の時のう回路で考えると、7号より若干離れたルートで災害等により7号と同時不通になるルートは避けた方がよいと思います。
- ・ 海岸の津波災害を考えると、山で最短ルートが良いと思う。
- ・ 国道7号と並行するB案は、その沿線地区の住民だけが恩恵をうける形になり不公平。
- ・ Bルート、Cルートだと急カーブがあるように見えるので、通過交通を考えると、Aルートを希望します。
- ・ ICを多く作ってもらいたい。
- ・ ICは4カ所も要らない。
- ・ 山辺里ICのような一方向のみの乗り(もしくは降り)のICではなく簡単な構造でよいので双方向のICにしてほしい。
- ・ 個々の意見を聞いては、それぞれの利害関係により意見が分かれるのは当然であるため、大局的な見地でルート選定してほしい。

【休憩施設を望む意見】

- ・ 海に見える所にパーキング(トイレ)
- ・ SAを作って頂きたい。無理な場合は、ICに隣接して「道の駅」を作って欲しい。
- ・ 現在ある道の駅が無駄にならないように考えてください。

【道路構造に関する意見】

- ・ 追い越し区間を設けていただきたい。
- ・ 対面通行では不安なので、供用区間も含め2車線(片側)を望みます。
- ・ 建設費がかかるのでとりあえず対面通行で出来るだけ早くお願いします。
- ・ 片側1車線でもいいが、中央分離帯はしっかりしたものを構造し、安全性に配慮してほしい。

- ・ 全線3車線にして交互に追い越し車線を設ける(10km~15km毎)べきと思う。
- ・ 高速は2車線でもよい。トンネルは少し広く、登り坂は追い越し車線を2ヶ所くらい、4車線が2ヶ所位あると何か事故がある時、車を寄せられる。
- ・ 高速道路は事故や除雪を考えてふさわしい路肩の幅を確保してください。
- ・ 急カーブ、急勾配のない事故の少ない道路を作って下さい。
- ・ 高速道によって、生活道路が通りにくくなる。側道の道路の整備を。
- ・ 民家への騒音低減に配慮して欲しい。
- ・ 7号線の沿岸道に冬期間だけでも防護柵の設置を望む。風の影響があり危険性があります。
- ・ 高波の影響を直接受けたくないよう、少し内陸側を通してほしい。

【その他の意見】

- ・ 高速道路は「網」として完成して、始めてその機能を最大限に発揮する。
- ・ 高速道路に接続する連絡道路として国道345号の改良してほしい。そうすれば国道7号と直結して災害時に良い。
- ・ 高速がないならいいがかまわない。大地震の影響で財政が苦しいなら無理に作る必要はないと思う。
- ・ 早期開通を目指すのではなく、日本の国土開発の将来性も考え災害に強い道路整備を進めて欲しい。
- ・ 全線ルートの場合、国道7号線の除雪の回数が減少の可能性があります。そこが一番の心配です。
- ・ これだけの情報によるアンケート調査によりルートを、人気投票として決定するのであればまったく意味のないものになるのでは？無記名であり組織票も可能なアンケート方法にも問題はないのか？どのように活用するアンケート調査なのかがみえない。
- ・ 机の上の計算だけでなく現場をしっかりとみてルートを作る。
- ・ アンケート調査結果や第三者委員会などポイントポイントで地域住民へのお知らせをお願いしたい。また、地域住民へ協力を求めたいことも遠慮せずをお願いしたい。そして、できるだけ早く実現を！

4. 説明会等の結果 (1 / 4)

アンケート説明会・グループインタビュー

- ・説明会は、新たな高速道路の計画について説明し、アンケートを実施するにあたっての参加者からの質疑応答や意見交換を行う目的で、アンケート期間中に沿線5会場を実施し、約440名が参加。
- ・グループインタビューは、アンケート調査では把握できない、地域住民等のニーズをきめ細かく把握し、今後の計画を検討する際に参考とすることを目的に住民説明会に引き続き実施し、各会場5～11名が参加。

説明会（府屋会場）



説明会（温海会場）



グループインタビュー（朝日会場）



WG委員による現地視察・意見交換

- ・現地視察は、WG委員に計画区間の国道7号の現状を確認していただき、また、ルート帯の概要等を説明することで、計画に対しての理解を深めていただくことを目的に実施。WG委員3名が参加。
- ・WG委員と地元代表者との意見交換を通じ、地域住民等のニーズをWG委員に情報提供し、地域住民アンケートの妥当性を確認する際の参考としていただくことを目的に、鶴岡市温海庁舎・村上市役所で実施。各会場6～8名が参加。

現地説明（村上市蒲萄地区）



意見交換（温海地区）



意見交換（村上地区）



説明会での主な意見

【現道の問題】

- ・冬季の国道7号は歩道が雪で埋もれており、子供もお年寄りも車道を歩いて生活している状態。
- ・海岸部は、津波発生時に孤立してしまう。

【高速道路への期待】

- ・多数決でルートを決めるのではなく、多少予算が多くても災害等に強い道路が必要。
- ・国道7号の災害だけではなく、海岸部の集落を守るということも考えて欲しい。
- ・広域的な観点から、太平洋側と補完できる道路整備を望む。
- ・山形側は土砂崩れで鉄道も国道も3日くらいストップした。山形側からの整備、もしくは同時着工を望む。
- ・寒川のためにも、海岸線を通して大須戸に抜けるなどの新しい道路（ルート帯）も考えて欲しい。

【現道活用案への意見】

- ・歩行者や耕耘機が通る国道を大型車がスピードを出して通るため、安全に問題がある。
- ・災害や事故があった場合に広域な迂回が必要となるような現道活用案は考えられない。

【サービスエリア等の休憩施設への意見】

- ・海が見える位置にSAの整備を望む。
- ・チェーン脱着場や休憩施設、物産販売などの機能を備え、高速道路と国道から出入り可能な道の駅の整備を望む。

【車線数への意見】

- ・高速道路を整備するのであれば、所々に片側2車線を確保して欲しい。

【開通後の現道管理】

- ・高速道路整備後も、除雪や除草など国道7号をしっかり管理してもらいたい。

【その他の意見】

- ・笹川流れをはじめ、海岸部は夏場になると非常に交通量が増えるため、交通事故のリスクが高まる。国道345号の整備もお願いしたい。

グループインタビューでの主な意見

【現道の問題】

- ・ゲリラ豪雨による水害で長時間にわたり通行止めになる。
- ・国道7号は通学路となっているところがあり、親同伴で通学しているが、大型車が多く危険。
- ・蒲萄は急カーブ、急勾配が多い。冬期はアイスバーンになり危険となる。

【高速道路への期待】

- ・山北地区は買物場所がなく、生活していくために高速道路が必要。
- ・朝日まほろばICまでの延伸により、時間が読めるようになった。
- ・早く行ける道路よりは、安全に通行できる道路を考えてもらいたい。
- ・多少コスト増になっても、安全性が高く、災害に強い道路としてほしい。
- ・高速道路により笹川流れへのアクセスが良くなれば、夏場の観光にはプラスになる。
- ・日本海側に国防を担う道路がないことは問題。
- ・時間短縮よりも、高速道路により主要都市が連絡されている事が物流面では最も大事。
- ・どのルートとなってもよいので、とにかく日沿道の早期整備を望む。
- ・事業費だけではなく、緊急時の避難ルートや観光の面からも考えるとCルートが望ましい。
- ・早く通過できるAルートが良い。
- ・蒲萄もしくは長坂の通行止めで、迂回が生じているためBルートが良い。

【現道活用案への意見】

- ・高速道路に挟まれた現道活用区間は速度が落ちにくく危険なため、現道活用案はやめて欲しい。
- ・現状として危険な道路に、高速道路を走ってきた車が進入して来る現道活用案はあり得ない。

【サービスエリア等の休憩施設への意見】

- ・ただ通過してしまう高速道路とならないよう、地元が利活用できるサービスエリア等整備を望む。合わせて、地元が活性化する仕組みも考えていく必要がある。
- ・道の駅「朝日まほろば」にも、高速道路と国道から利用できるサービスエリアを整備してもらいたい。
- ・無料区間でのSAは贅沢との話はわかる。SAは緊急性を考えると、道路ができてからで良いのでは。

【車線数への意見】

- ・無料の高速道路は低速車が多く、安全面の問題から、4車線整備もしくは、一定の間隔で追越車線の整備を望む。

【その他の意見】

- ・どのルートでもよいが、ICからのアクセス道路の整備が大事。
- ・高速バス停及び駐車場の整備等も考えて貰いたい。

4. 説明会等の結果(4 / 4)

WG委員との意見交換での主な意見

【現道の問題】

- ・毎年のようにJRや国道がストップするため観光客が離れていってしまう。
- ・高校生はJRで通学しているが、JRが度々運休するため、家族が鶴岡まで送迎をしなければならない。
- ・山北地区は救急車が出動すると、1時間以上の救急車空白時間ができる。
- ・「命を守る道路」はもちろん重要だが、少子高齢化により集落の衰退が目に見えている。

【高速道路への期待】

- ・観光によるまちづくり、地区の活性化の考え方として、高速道路は遠くから人を呼ぶだけでなく、地元の生活圏としてなければならないもの。
- ・地域を衰退させないための物流・人流をもたらす高速道路が必要。
- ・時間短縮が一番重要と考える。
- ・救急車空白の時間が患者の命取りになる。空白時間を短縮する「命を守る道」としての高速道路が必要。
- ・国道7号は、車が猛スピードで走行しており危険。高速道路整備で国道の交通量減少に期待。
- ・災害に強く、通行止めになりにくい事が一番大事。
- ・新幹線は東京中心の流れだが、高速道路は全国から観光の流れを呼べる。
- ・漁業面では、少しでも魚価の高い市場へ持って行けることが大事。
- ・温海地域ではどのルートでも良く、より早く着工することが大事。
- ・とにかく早く整備して欲しいというのは、温海も村上也同じ。
- ・ルートについては、人が住んでいる所を考えた上でのルート選定が必要。
- ・ルートについては、国道7号に並行するのはどうか？災害を考えると、高速道路も国道7号も同時に止まるのでは意味がない。

【現道活用案への意見】

- ・日沿道が朝日まで開通し、大型車が増えている中で、現道活用案は考えられない。
- ・現道活用は、高速から現道に入った際に、ドライバーの意識変更が速やかにできない。地域の意見は大半が「現道活用は勘弁して欲しい」だった。

【サービスエリア等の休憩施設への意見】

- ・せっかくの高速道路整備ならSA・PAが欲しいとの要望が出ている。管理運営は地元が行うことでどうか。
- ・府屋付近で粟島も鼠ヶ関も見えるところにSAを整備するのはどうか。
- ・「道の駅」朝日は、高速道路や国道からアクセスでき、地域住民も利用するような施設にするため、地元が取り組んでいく。

【車線数への意見】

- ・有事の際に緊急車両が通行できるスペースを確保して欲しい。
- ・追い越しできる場所を多めに作ってゆとりのある安全な道路にして欲しい。

【その他の意見】

- ・新直轄方式で整備するならSAの整備ができないのは仕方がないが、ICを多くして産業・観光の活性化を望む。
- ・病院へのアクセスを向上させるため、ICはなるべく多くして欲しい。
- ・海岸沿いの道路は凍結するので止めた方がよい。
- ・ICにより現道が賑わうことが大事であるため、現道を活性化することも考えて欲しい。
- ・ドクターヘリが降りられるヘリポートの用地確保をお願いしたい。

- ・企業アンケート・ヒアリングは、地域住民だけでなく、企業や関係団体に物流面での問題意識など、各種団体の意見を調査・集約することを目的に実施。
- ・対象企業は、政策目標である「救急搬送の強化」「安全性の向上」「最短時間でつながる物流」「災害への備え」「観光振興の促進」に合致する企業、団体の中から選定した。

設問内容

- ・住民アンケートを基本として、日沿道供用後の利用意向や供用により貴社にもたらされるメリット等を回答する項目を追加。
「日沿道供用後の利用意向や供用により貴社にもたらされるメリット等があれば、なるべく具体的にご記入ください。」
- ・また、国道7号の利用頻度が高い企業には、以下の項目についてもヒアリングを実施
 - 1) 東日本大震災の影響と対応
 - 2) 現在までに供用された日沿道による効果
 - 3) 日沿道・未開通区間に対する期待
 - 4) その他、道路行政に対するご意見等

回答方法

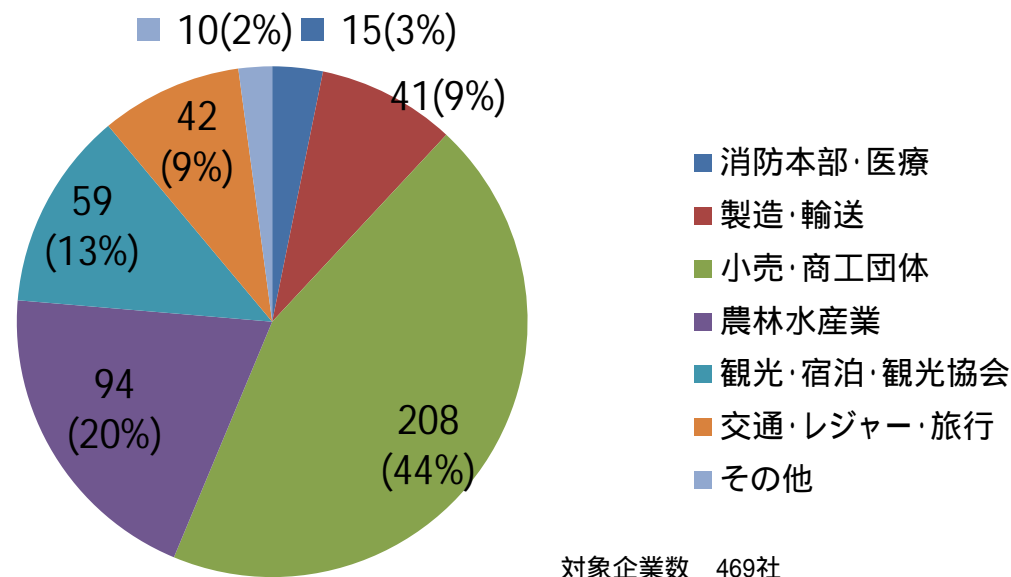
- ・下記の2方法とした。
 - 1) ヒアリング（訪問および電話）
 - 2) FAXによる回答

回答数

- ・全 202社・団体
うち、ヒアリング企業 34社・団体（うち電話5社）

企業・団体の選定条件

- ・政策目標に合致する約470企業・団体を抽出



<分類毎の抽出方法>

政策目標:救急搬送

救急・医療:計画区間内を管轄する救急隊、救急病院及び直近の第3次救急医療施設から抽出

政策目標:安全性の向上,最短でつながる物流,災害への備え

製造・流通:長距離物流を担う企業を抽出

小 売:計画区間を跨いで店舗を展開している企業と計画区間内の地元商工団体を抽出

農林・水産:計画区間の自治体管内のJA及び長距離物流を手がける企業から抽出。

政策目標:観光振興の促進

観光・宿泊:計画区間にかかる自治体の観光事業者、宿泊施設から抽出

観光協会は計画区間にかかる自治体から抽出。

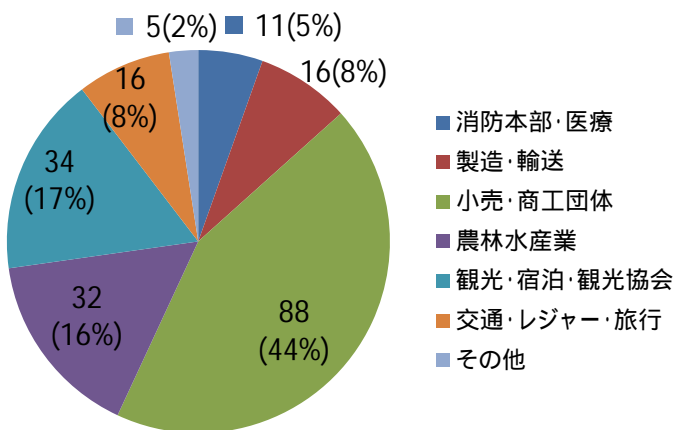
交通・旅行:計画区間にかかる自治体の観光交通事業者(観光タクシー、観光バス)から抽出

旅行業は、計画区間自治体を目的地又は通過する旅行を企画する企業から抽出

5. 企業ヒアリング・アンケート結果 (2 / 5)

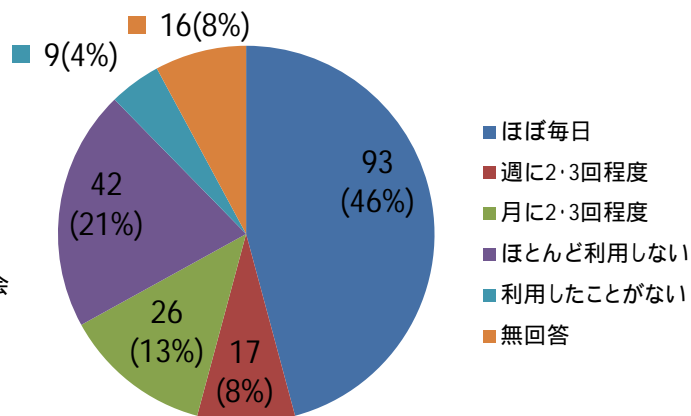
・アンケートは202社が回答し、業種別の回答傾向は抽出した企業の割合とほぼ同様の傾向となっている。
 ・国道7号の利用頻度は、週に2～3回以上の利用企業が、約50%を占める。
 ・国道7号の問題点は、通行止め時の迂回路が無いことの回答が多く、次いで、冬期交通問題や道路構造となっている。
 ・高速道路の必要性は、回答企業の約75%が必要と回答。必要と思わない理由は、現道に問題を感じていないことや財政負担の回答が多い。

質問1 業種



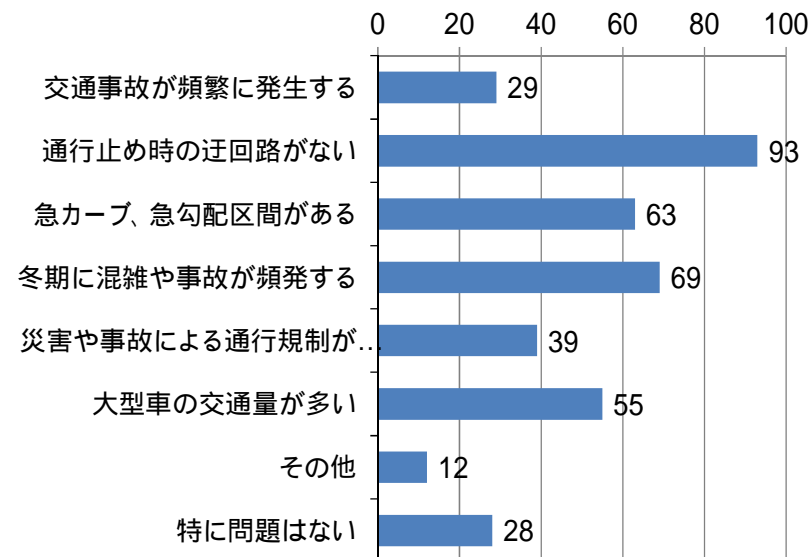
有効回答数 = 202

質問2 国道7号の利用頻度

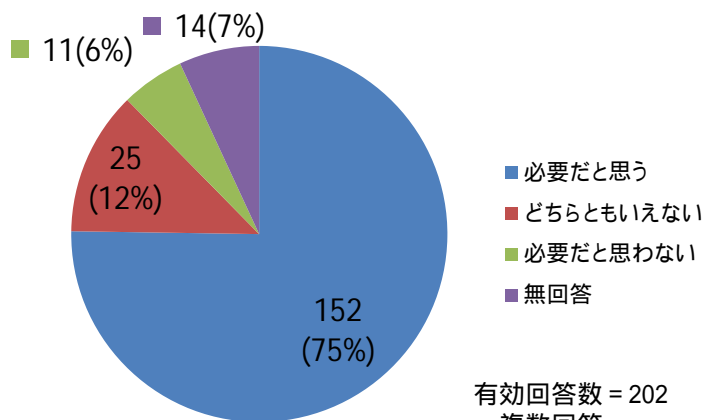


有効回答数 = 202

質問3 国道7号の問題点

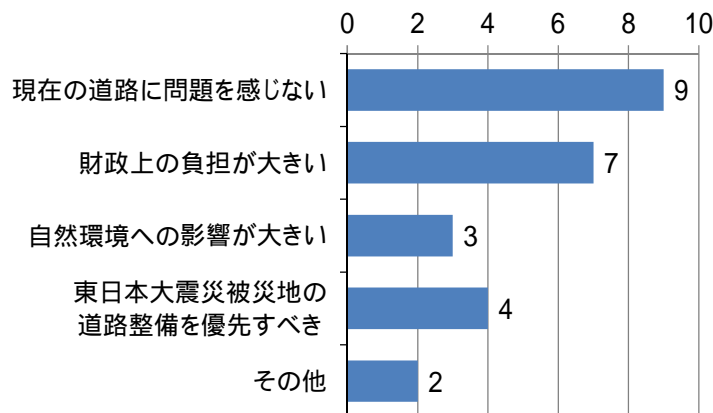


質問4 高速道路整備の必要性



有効回答数 = 202
複数回答

質問5 必要と思わない理由



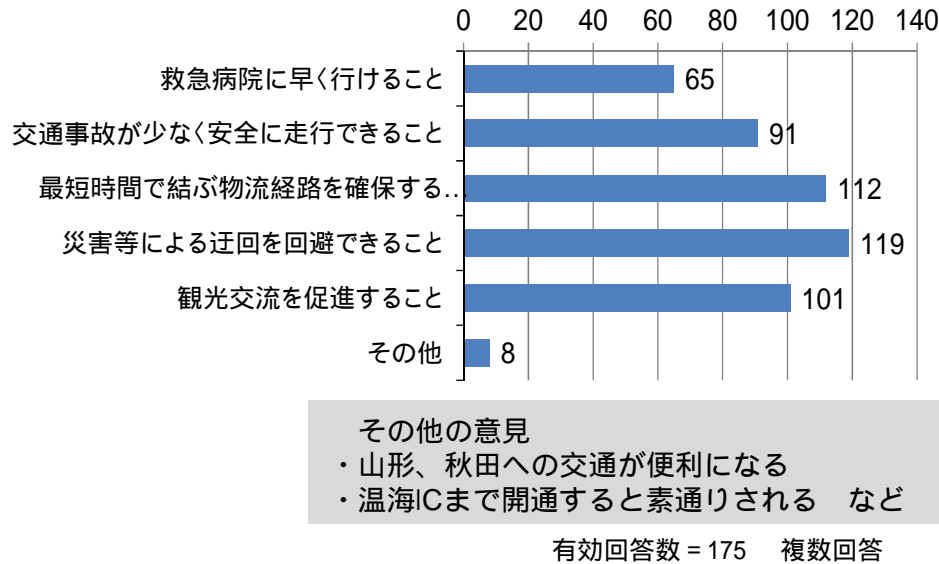
有効回答数 = 14 複数回答

有効回答数 = 180
複数回答

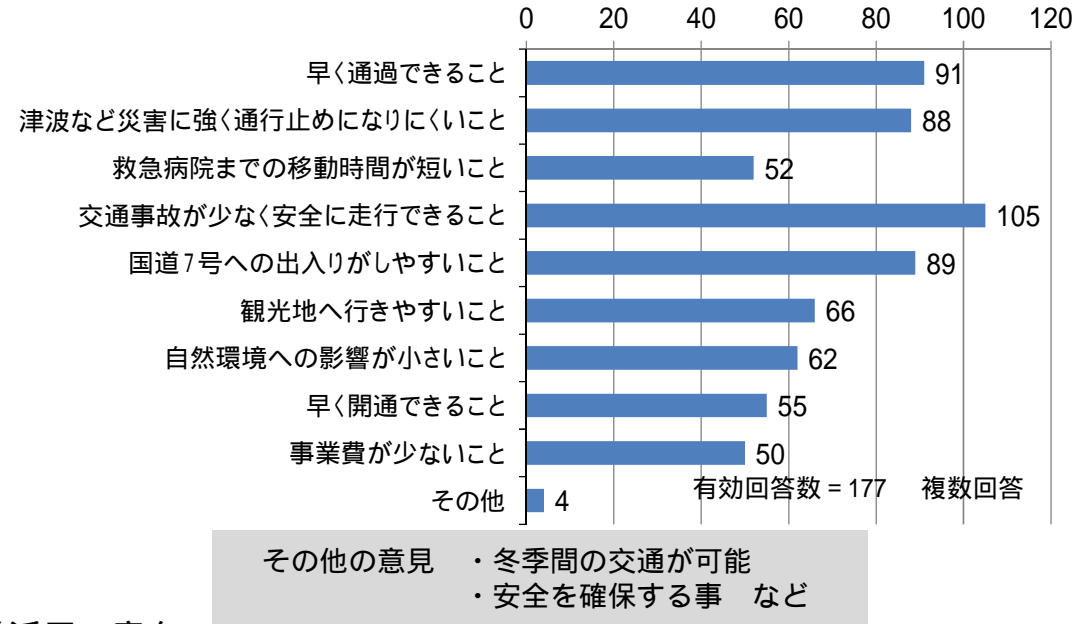
5. 企業ヒアリング・アンケート結果 (3 / 5)

- ・高速道路に期待する役割は災害等による迂回を回避できることの回答が多い。
- ・ルートを選定する時の基準は、交通事故が少なく安全に走行できることの回答が多い。
- ・望ましいルート帯はBルートが最も多く、現道活用の意向は、約6割が新しく高速道路を整備する案を望んでいる。
- ・日沿道供用のメリットは、時間短縮効果を期待する回答が多い。

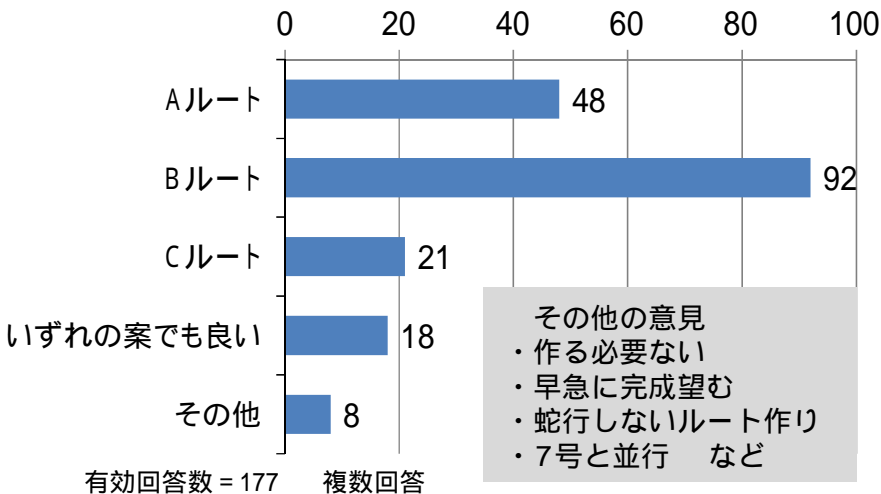
質問6 高速道路に期待する役割



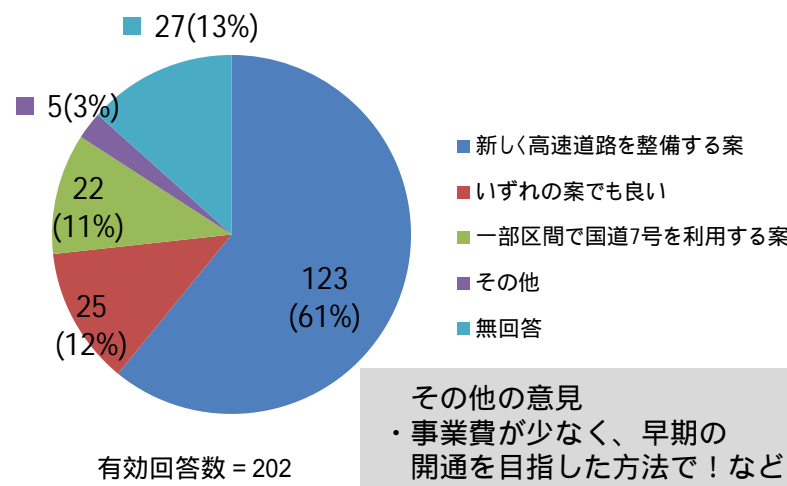
質問7 ルートを選定する時の基準



質問8 望ましいルート帯



質問9 現道活用の意向



質問10 日沿道供用のメリット

意見	意見数
時間短縮	48
来訪者・物流等の増加	27
移動円滑化	17
広域観光展開	14
交通事故の軽減	11
B C P	1
燃費向上が図られる	1
定時性が確保される	1

有効回答数 = 109 複数回答

質問 1 1 企業アンケートでの主な意見

【現道の問題】

- ・冬期間はJRの運休により、関東・関西への計画的な輸送が実施できないことがある。

【高速道路への期待】

- ・高速ネットワークの拡大で、観光客の増加など、地域の活性化が見込める。
- ・日沿道沿線企業の新潟港使用が促進される。
- ・温海ICまで開通すると、村上地区は素通りされる懸念がある。観光をはじめ地域の魅力をPRしないと立ち寄りられなくなる。
- ・広域観光の拡大による交流人口の増加により、地域の活性化につながる。
- ・時間が短縮されることにより、物流コストが低減される。
- ・物流の効率化。新潟空港への時間短縮。
- ・開通により所要時間が短縮され、安全性の向上や、顧客へのサービス向上になる。
- ・魚の競り時間が遅くなっても、主要都市の市場に出荷が間に合うようになる。
- ・時間短縮はもちろんだが、感覚的に「つながっている」という精神的な距離の短縮が大きい。
- ・旧山北地区からの患者の搬送が容易になる。
- ・通過交通が高速に移るため、7号の交通量が減り、安全なバス輸送ができる。
- ・国道が事故、災害で寸断されても、影響を少なくできる。
- ・高速道の建設を、費用対効果ではなく、いざと行くときの有効性を判断して、建設促進を図って欲しい。
- ・越波などにあたらぬ構造にすべき。
- ・開通による時間短縮で、旅行範囲が広がる。
- ・開通により東北との交流が拡大し、より遠くからの誘客が可能になる。
- ・日沿道が北陸、関西地区へのメインルートになる可能性がある。
- ・地方と中央を結ぶ高速は充実しているが、地方と地方を結ぶ高速はまだまだ。
- ・つながってこそその高速道路。日本海側は物流に大きなハンデを負っている。

- ・日本海側に拠点エリアを創生することが必要。拠点エリアの強化のために青森～秋田～山形～新潟の道路整備が必須。
- ・小岩川、府屋地区では高波や土砂崩れなどの災害が多く発生する為早期着工をお願いする。
- ・高速道路は計画したら全通させなければ効果は半減されるので、早期に全通させてほしい。

【現道活用案への意見】

- ・災害を考慮した場合、高速道路は独立していた方が良い。

【サービスエリア等の休憩施設への意見】

- ・SA・PA・トイレなどを作ってほしい。

【車線数への意見】

- ・現在の日沿道は片側1車線で、事故、渋滞時には通行できない。4車線化を望む。

【その他ご意見】

- ・ICの箇所が多いのは便利だが、コストを考えると数は減らしても良いと思う。
- ・第三次救急医療施設の県立新発田病院へのアクセスのためのスマートICが必要。
- ・ICのアクセス道路をきちんと整備して下さい。
- ・冬期に職員がアパートを借りることなく、自宅から通勤できる。
- ・道路建設費用が税負担としてのしかかる。

企業ヒアリングでの主な意見

【現道の問題】

- ・新潟以北の鉄道が止まると、トラックに振り替える。鉄道だけではどうにもならない場合がある。
- ・現在の国道7号はトンネルも多く、線形も良くなく、突然横断歩道の箇所などもあり、非常に危険。
- ・タンクローリーは小回りが効かないため、通行止めが発生するとその場で開通を待つしかない。
- ・東北日本海側の都市ガスは新潟からの輸送に依存しており、沿岸部への供給が限界。高速開通で時間短縮されれば、内陸部にも都市ガス供給が可能となる。

【高速道路への期待】

- ・日沿道が開通することで村上と鶴岡、温海は人と人のつながりでてくるのではないか。
- ・日沿道の延伸により輸送時間が短縮され、運転手一人での運行が可能になる。
- ・日沿道の整備により、庄内地域が2時間圏内となり、いままでできなかった新規出店の可能性も高くなる。
- ・山北～鶴岡は冬期は1時間以上要するため冬期の患者輸送の負担軽減も期待できる。
- ・道路が寸断されると選択肢もなくなるので、災害に強いことが重要だと認識している。
- ・高速道路の延伸により、瀬波温泉のツアーは増加したが、月岡温泉は通過点となった。今後延伸すると、瀬波温泉もどうなるかはわからない。
- ・全線開通すれば、“行きやすくなった”というイメージを持たせることで、大きな交流が展開されると期待している。つながることに意味がある。
- ・日本海側が結ばれれば、首都圏～新潟～庄内地域へのアクセスが増える。
- ・海外からの旅行者は代表的な富士や箱根などの世界遺産に行く。村上や温海には行かないと思われる。
- ・JRと日沿道の両方あれば、日本海側の物流ルートの信頼性が上がり、顧客に安心感を与えることができ、貨物量が増加する。

- ・日沿道が整備されると生産拠点分散の動きも加速し、日本海側の物流量増加が期待できる。
- ・新潟～庄内間は荷量が少なく、往復ともに満載にすることができないため、運送のコストが高い。日沿道の整備で、庄内にハブ拠点が進出すると、物流の幹線になり得る。
- ・海外の旅行者が行くためには、観光地としての魅力が一番の要素。道路ネットワークはその次になる。
- ・早く開通して欲しい
- ・ルート案決定で優先すべきは災害時の道路確保で、次に環境負荷を低減するようなルートであるべき。時間短縮だけでルートを決めてはいけない。

【現道活用案への意見】

- ・現道活用は、高速も一般道も使えなくなり、迂回路がなくなるのが問題。
- ・車線構成や国道7号の利用も考えたルートにするべきである。

【サービスエリア等の休憩施設への意見】

- ・日沿道はSA・PAが少ないため作って欲しい。

【車線数への意見】

- ・追い越し車線を増設して欲しい。
- ・2車線ではなく4車線で作ってほしい。追い越しできる構造にした方がよい。
- ・暫定供用は中央分離帯がラバーコーンであり、対向車が突っ込んできそうで怖い。

【その他ご意見】

- ・日本の高速道路はくねりすぎ。地図で見ると、なぜ、もっと直線的に出来ないかと思う。
- ・患者の搬送に急カーブや勾配は危険である。路面状態にも注意が必要。

調査結果のまとめ

国道7号の問題点は、大型車の交通量が多いことや通行止め時の迂回路がないことなど、安全面の問題や災害時の脆弱性への意見が多い。

新たな高速道路の必要性は、回答者の大多数が必要と回答している。

一方で、高速道路を必要と思わない理由には、東日本大震災被災地の道路整備を優先すべき等があげられた。

高速道路に期待する役割は、災害等による迂回を回避できることと最短時間で結ぶ物流経路を確保すること等があげられた。

ルートの選定基準は、津波などの災害に強く通行止めになりにくいこと、交通事故が少なく安全に走行できること等があげられた。

望ましいルートは、Bルートとする意見が最も多く、ついでAルート、Cルートとする意見であった。

現道活用については、現道活用区間における交通事故の増加や災害時の迂回を懸念する意見が多く、全線で新しく高速道路整備を望む意見が多い。

アンケートでの自由回答意見としては、早期整備を望む意見が最も多い。

その他意見として、ICやSA・PA、道の駅などの休憩施設、追越車線、車線数に関する意見があった。また、ICからのアクセス道路の整備や、現道の改良、維持管理の継続を 求める意見等があげられた。